議会だより

しょうわ

2018.4.27
No.177

山梨県昭和町議会
http:www.town.showa.yamanashi.jp/

コーラス部公演の様子
（関連ページ22）

角野町長の所信表明 ❷
一般質問 ここが聞きたい ❾
甲府昭和高校との連携事業 ⓴
議員記者が行く！文化協会へ取材！ ㉒

•表題（しょうわ）については
「西条小学校 6年1組（平成29年度当時）
中野　李咲 さん（なかの りさ）」の直筆です。

角野町長の所信表明

小さくても豊かなまちづくり!

主要施策3つの柱!

1 (仮称)子育て支援に関する総合サービス拠点の整備、検討

多様化する子育てニーズに、よりきめ細かい対応を可能とするよう進めていきます。

2 都市計画マスタープランと緑の基本計画の推進

都市計画の視点から未来の昭和町の姿を描いていき、市街化調整区域の開発基準を定める都市計画法第34条第11号の条例制定など、さらなる推進に努めていきます。

3 (仮称)生涯学習館の建設に向けて協議を進める

町民の皆様から要望をいただき、第6次総合計画や昭和町まち・ひと・しごと総合戦略にも位置づけている計画を進めていきます。

施政方針(要旨)

町民サービスの維持・向上を目指す6つの諸施策!

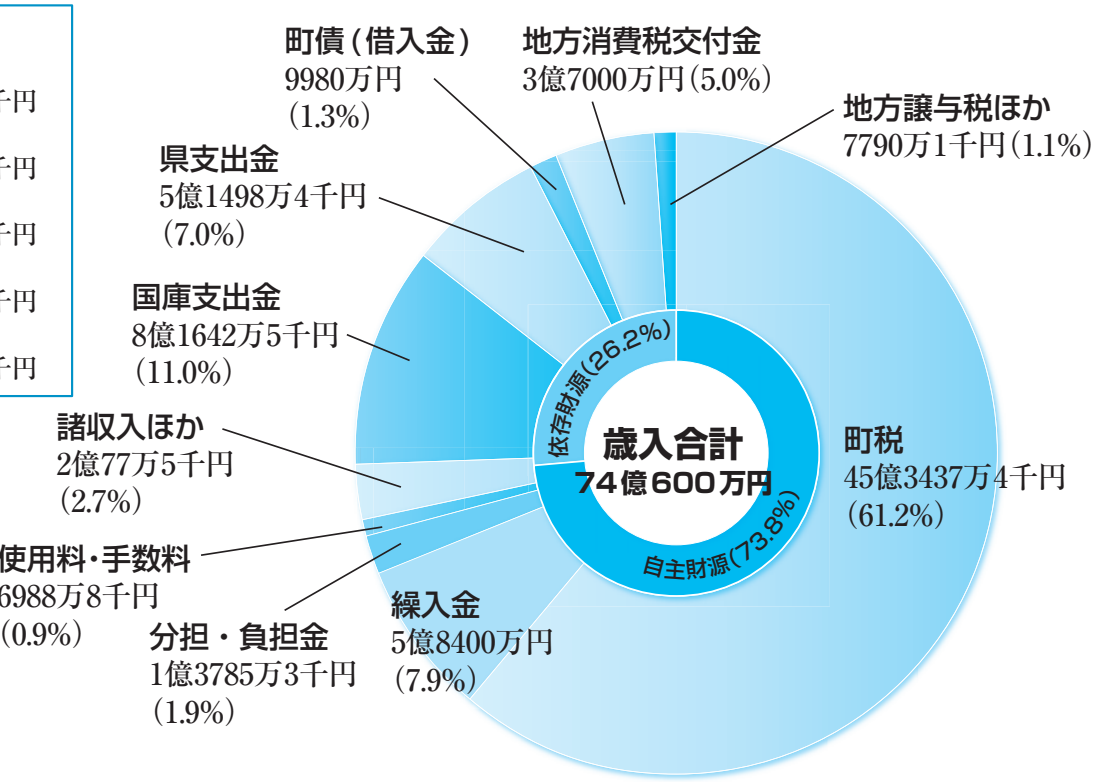
1. **「支えあう健やかな町を目指す」**
   母子寡婦・父子家庭の支援策等、さらなる福祉の向上。
2. **「豊かな心と文化を育む町を目指す」**
   教育・スポーツ・文化活動の支援。
3. **「快適で住み心地のよい町を目指す」**
   快適な住環境、リニア開通を見据えたアクセス道路の整備。
4. **「にぎわいと活力のある町を目指す」**
   交流人口の増加に努め、企業支援をすることによる雇用や起業の増加。
5. **「安心して暮らせる町を目指す」**
   洪水ハザードマップの更新、下水道設備の管内調査また、消費者行政事業のさらなる充実・継続。
6. **「参画と交流の町を目指す」**
   町内各種団体との連携支援の継続。

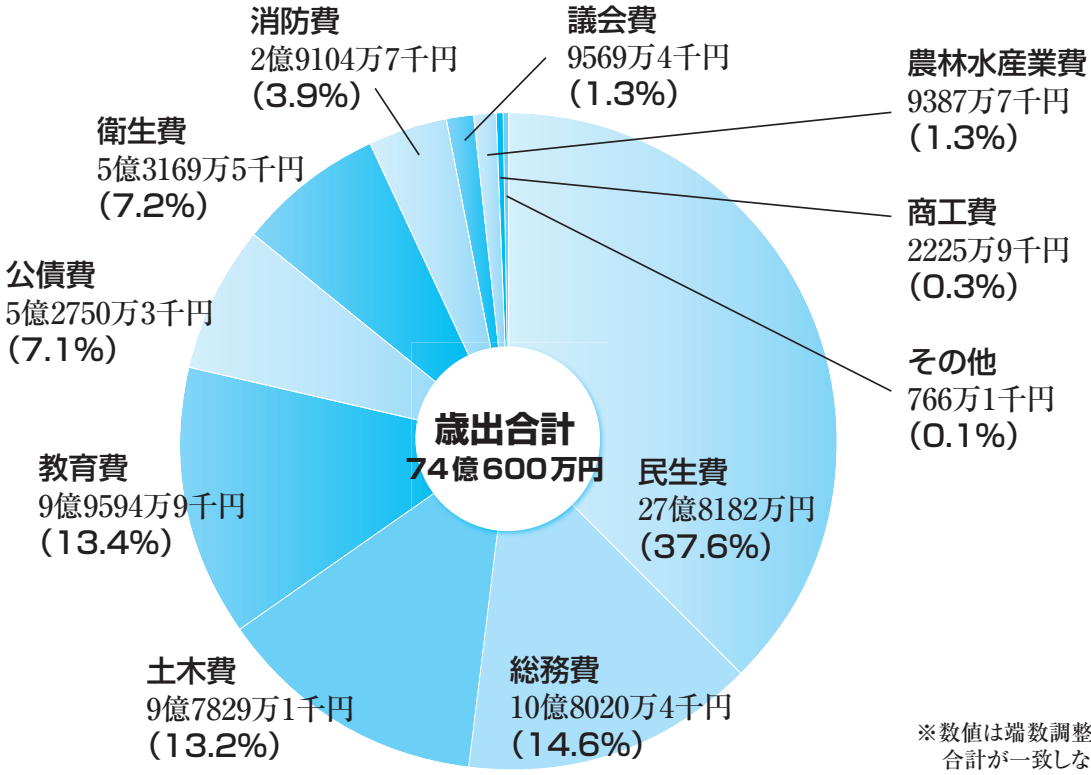
平成30年度一般会計

議会は一般会計・特別会計予算の使い方をチェックしていきます。

町税内訳

町民税
18億8325万7千円
固定資産税
23億5745万8千円
町たばこ税
2億3469万5千円
軽自動車税
5788万7千円
入湯税
107万7千円





※数値は端数調整してあるため、
合計が一致しない場合があります。

町民に身近な事業

•学校給食センター増築・改修工事	1億2332万円
•（仮称）子育て支援拠点センター用地及び建物取得	1億141万円
•庁舎1階多目的トイレ改修工事	340万2千円

3月定例会で 決まったこと

平成30年3月定例会は、3月2日から16日まで15日間の会期で開きました。町長提出の条例関係10案件、平成29年度一般会計および特別会計補正予算6案件、平成30年度一般会計予算および特別会計予算7案件その他1案件を審議しました。
一般質問では8人の議員が12件について活発な質問・意見を展開しました。

平成30年第1回定例会で決まったこと

●詳細は5月末更新予定のHPの会議録を御覧下さい。　※塚原將司議員は議長のため、採決には加わっていません。

種別	案件名	堀 門太	依田 茂巳	金丸 富一	薬袋 義久	石原 一好	中澤 康夫	石原 高明	林 和仁	鷹野 一雄	河住 保茂	樋口 敏夫	※塚原 將司	田中 博愛	遠藤 辰男	三井 猛	河田 あけみ	審議結果
委提第1号	議会基本条例中改正の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	全員賛成で可決
議案第11号〜議案第16号	平成29年度昭和町一般会計及び特別会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	全員賛成で可決
議案第17号〜議案第23号	平成30年度一般会計及び特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	全員賛成で可決
議案第1号〜議案第10号	①昭和町職員給与条例中改正②職員の育児休業等に関する条例中改正③個人情報保護条例中改正④情報公開条例中改正⑤後期高齢者医療に関する条例中改正⑥指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例制定⑦介護保険条例中改正⑧町営住宅設置及び管理条例中改正⑨甲府都市計画昭和町特別工業地区建設条例中改正⑩都市公園条例中改正以上10案件については、全員賛成で可決となりました。																	

ほたるんに聞いてみよう!

ねえねえほたるん、【議会で決まったこと】の中の“委提”ってどういうもの?

委提ってなんだ!?

(委員会提出議案)

委提っていうのはね、いつもは町長さんから議案(条例とか)は出されるんだけど委員会(議員さんたちが議案とかの事を話し合う集まり)でも議案を出すことができるんだ。でもお金のこと(予算)に関しては提出できないよ。それでも町のみんながやってほしいことや、議員さんたちが進めていきたいことをしっかり提案として出せるっていいことだよね。

今回は議会の中の条例をもっと良くする為に、
委員会で提案して、それがOKってことになったんだよ。
またわからないことがあったら聞いてね!

議会基本条例改正の道のり

改正の目的

政府の地方分権推進に向けた取り組みの中で、当議会でも議会改革の一環として議会基本条例を平成22年9月に制定し、その後、平成26年12月に一部改正して以来３年が経過しました。今回、議会基本条例全体の見直しを行い、従来の活動に留まることなく、自己、議会全体の更なる資質向上を図りながら、議会改革を推し進めていきたいという思いから改正に至りました。

議会基本条例 改正!

2月2日
全員協議会
議会基本条例の条項について、現在までの活動を踏まえ条項の改正をする事に決定。

2月14日
議会改革推進会議

2月19日
地方分権対策特別委員会
議会基本条例の改正条項の協議・精査をし、議会全体として、改正に向けて検討。

2月20日
議会改革推進会議

2月22日
地方分権対策特別委員会
議会基本条例の中で町当局に関わる条項内容について精査・検討・決定し、その他条項についても検討の結果、改正案が決定した。

3月2日
議会本会議
地方分権対策特別委員会にて委員会提出議案として「議会基本条例中改正の件」を本会議へ提出。
議員全員賛成で、可決。

第1回定例会（3月）委員会質疑

水源対策特別委員会

昭和町内水準点測量結果

一級水準点所在地5か所の水準点は問題ない。甲府上下水道局昭和取水場総水量は、エリアの切り替えと住宅、店舗が増えたため、ここ数年多くなっている。

昭和町における地下水の実態調査・研究に関わるデータ解析

山梨大学・昭和町共同研究による、山梨大学中村高志助教から昭和町における地下水源を適正に活用するための地下水の実態調査について中間報告。

地方分権対策特別委員会

平成24年度から平成29年度までの新任職員を対象に、「若手職員アイデア提言」と題し、パワーポイントによる発表を受けた。詳細はP8へ。

2月27日開催の第1回生涯学習館建設検討委員会について生涯学習課長より報告を受けた。検討委員会の内容については正副委員長の決定・要綱の作成・今後の展望等について意見を交わした。

教育厚生常任委員会

各小中学校における※PCBの調査について

中澤議員　各小中学校におけるPCBの調査の内容は。

学校教育課長　3小学校・中学校に設置してある、キュービクル中にPCBが含有しているかの調査である。

金丸議員　いじめ対策についての現状は。

教育長　各小中学校において、アンケートを年3回、実施し、いじめ防止協議会を年2回、実施している。

いじめに関する講演会を外部講師に依頼し開催している。すべての学校に配置しているスクールカウンセラー等の対応も実施している。

給食費未納について

塚原議長　給食費の未納の新規対応はいつ頃実施か。

学校教育課長　滞納処分を可能とするための支払督促の手続きは進めていく。関係する内容の議案は6月定例会に上程する予定である。

介護支援について

林議員　介護支援等の事業者は、その利用者本人が意思表示できない状態にあって、身寄りもない場合には、利用者の要望・希望をどうやって確認するのか。

いきいき健康課長　利用者のサポートに当たっている方々の意見を聞き取りながら、利用者に最適と認められる対応を行う。

介護保険法改正について

中澤議員　介護保険法が改正され、県が行ってきた介護事業所への指導監督業務が、市町村へ権限移譲されることになるが、対応する職員の数は足りるのか。

いきいき健康課長　職員の業務量が増大することは明白であるため、総務課には増員配置を依頼している。

※PCBとは

ポリ塩化ビフェニル化合物の略称で、毒性の強いダイオキシン類のものもある。

第1回定例会（3月）委員会質疑

産業土木常任委員会

公有地境界調査委託について

鷹野議員　委託の業務範囲と、どのような案件に対して委託業務が発生するのか。

建設課長　道路拡幅などの際に無償で土地をセットバックしてもらい、なおかつその道路に公共性があると認められた案件に対しての分筆業務を委託している。

彩の広場の駐車場の利用について

三井議員　不法駐車している車が多く、彩の広場を利用したい人が車を止められない、これまでの取り組みと、今後どのように対応していくのか教えてほしい。

都市整備課長　以前、約2か月間、職員が朝と昼に駐車場を見回り、常習的に駐車している車に注意をするステッカーを貼り、不法駐車が減った実績がある。今後については、できる限り対応していく。

全国森林環境税促進連盟について

依田議員　全国森林環境税促進連盟の加盟については、本町には森林等がない状況だが、メリットはあるのか。

環境経済課長　森林環境譲与税においては、人口割のみではあるが受けられることになるのでメリットはある。

総務常任委員会

ふるさと納税について

堀議員　ふるさと納税の新たな取り組みは考えていくのか。

総務課長　昨年度までの返礼品で、総務省通知により装飾品等、返礼品としてふさわしくないものは除外し、新たに今年度は返礼品の追加を検討していきたい。

ホームページリニューアルについて

依田議員　昨年末に町民に対してアンケート調査を行い、今後ホームページの充実を図るためリニューアルをする予定だと思うが、町の情報発信であるので早めに取り組むことはできないか。

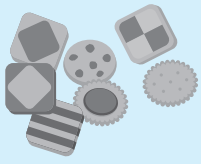
企画財政課長　アンケート調査を実施した結果、スマートフォンに対応してほしいとの意見が多かった。

　ホームページの見直しは、メリット・デメリットがあり経費がかかるので慎重に取り組んでいく。

アルファ米について

薬袋議員　アルファ米を備蓄しているとの説明を受けたが、備蓄しているのはアルファ米だけか、何人分の備蓄があるのか。

企画財政課長　アルファ米もアレルギー対応と通常の品物を用意してある。その他、おかゆ・粉ミルク等計画的に備蓄している。備蓄量は昭和町の人口の1割分で約2,000食分。



若手職員によるアイデア提言

（地方分権対策特別委員会）

地方分権対策特別委員会にて、若手職員による、
アイデア提言のプレゼンテーションが行われた。

A班「町民目線の優しい庁舎環境の提供について」

《提案内容》

①石油ファンヒーターを設置することで庁舎内の空調を改善。
②2階にある課への案内板設置。
③役場1階にある障がい者用トイレを多目的トイレに改修。

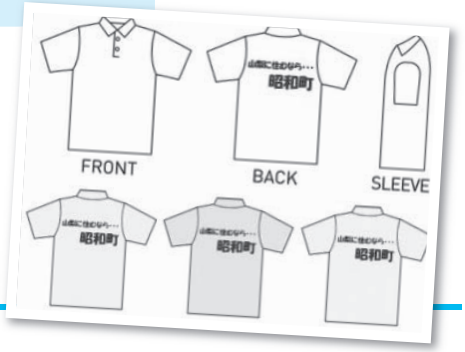
《議会から》

・提案としてとても良いものであると感じた。更に深く調査し、実現してほしい。
・良い提案だが、①の場合設置によるデメリットを無くしたうえで運用が必要になる為、それについても調査してあれば良かった。等

B班「ポロシャツ大作戦　昭和町をPR」

《提案内容》

①“PRのきっかけ”につながるポロシャツの良さとして、シンプルに目につきやすい。目につきやすいということは人の印象にも残ることにつながる。
②“明るさと一体感”につながるポロシャツの良さとして、デザインが自由。デザインや色で明るさを出し、同じものを着ることで一体感が生まれる。
③“電気料の削減と作業性”では、ポロシャツはYシャツと比較して涼しく、動きやすいという点がある。



《議会から》

・県や他の市町村でもやっている例がある為、当町も是非課題をクリアしてもらった上で、進めてほしい。
・職員のポロシャツの導入はクールビズの推進などになり、とても良いと思う。等

施策を問う ここが聞きたい

一般質問の内容は議会事務局及び5月末更新のHP会議録からも閲覧できます。

Q 「リニア環境未来都市創造会議」での関わりは

A 創造会議の場において進捗状況を注視しながら方向性を決めていく

依田　茂巳（よだ　しげみ）議員

依田

リニア中央新幹線の開業まであと10年を切り、県では1月にリニア環境未来都市創造会議を起ち上げ、本町からも町長や関係課が会議の員に委嘱されている。

創造会議ではリニア駅周辺と駅近郊について議論されており、駅近郊エリアに町の面積の半分以上が含まれる本町では、町の未来への魅力があふれるように意見を述べていく必要がある。どのような体制で、どんな意見を述べていくのか。

町長

平成29年3月に、山梨県において「リニア環境未来都市整備方針」が策定されたことはご承知のことと思うが、その中の土地利用方針においても、本町のまちづくりに関連して、実行性や具体性が明確に示されているものではないので、今後、県の考え方等を整理するとともに、創造会議の場において、県による基本計画の進捗状況等を注視しながら、改革会議などの庁内協議の場を有効に活用し、本町にとってどのような方策が望ましいか方向性を決めていきたいと考える。

Q 「おこんこん山」を活用した「山の日」事業の開催を

A 「山の日」と結び付けるイベントは考えていない

依田

四方を名峰に囲まれた山梨県では「山の日」を制定し、各種事業を展開してきている。

本町は平坦な地勢のため山はないが、史跡として「おこんこん山」として親しまれている義清塚が整備されている。

この「おこんこん山」を活用し、「山の日」の意義や文化に触れる機会として、昭和町の「山の日」事業を官民連携で展開してはどうか。

教育長

「おこんこん山」は町の貴重な財産だが、「山の日」と結び付けたイベントの開催は考えていない。

県内各地で実施している「山の日」のさまざまなイベントに積極的に参加する中で、県民として自然に親しむ「山の日」を体験していただきたい。

山梨で1番低い山…?おこんこん山!

Q 障がい者スポーツのより充実を

A さらなる充実に努力していく

依田

障がい者スポーツのより充実を目指し、本町では障がい者の方々によりスポーツを楽しむ機会や、受け入れ態勢や施設、指導者等の環境整備を、昭和町スポーツ推進計画などにおいて、どのように進めていく考えか。

教育長

障がい者スポーツにおける環境整備などの課題については、「障がい者福祉会」などのご意見をお聞きしながら解決に取り組む。

用具や指導者の不足については、県障害者福祉協会を活用していく。

また、さまざまなイベント実施の際には、総合型地域スポーツクラブ「キャメリア」等の協力も得ていきながら、障がい者スポーツの充実に努力していきたい。

Q 自治体クラウド導入の考えは

A 将来的な導入に向けて調査、研究していきたい

石原（いしはら） 高明（たかあき） 議員

石原（高）

自治体クラウドとは、各自治体が同じ処理をしている業務を地域単位や関係の深い自治体でグループを作ってソフト開発や運用、データ保管などを共同で行うことだ。

コストの削減や災害時のデータ確保、専門性の確保などを行うことで、国は積極的に進めようとしている。

本格的な導入には課題も多いが、住民サービスの向上に向けても自治体クラウドは避けて通れないものだと思う。本町の自治体クラウド導入についての考えは。

町長

自治体クラウドシステムの共同利用には、相手となる自治体探しをはじめ、導入時期の決定や各自治体における費用負担の割合、統括する組織の確定などさまざまな課題もあり、メリット、デメリットを慎重に検討する必要がある。

今後は、国の考え方等に基づいて、将来的な自治体クラウド導入に向けて調査、研究していきたい。

再質問

県内では10市町村が財務会計システムなどを共同利用し、コストの抑制と運用ノウハウの共有促進を行っている。

課題があるのは承知だが、十分な実施体制を構築し、なるべく早い時期での導入を望みたい。

総務課長

住民登録や税などの基幹登録システムの切り替え時期も迫っており、財務会計システムも、その時にあわせて検討していきたい。

Q 災害時の「受援計画」の策定を

A 平成30年度に策定する

石原（高）

災害時はボランティアを地域で受け入れるための環境や応援職員の受け入れ体制などの「受援体制」を整備しておくことで、先を見通した災害対応が可能になるという。本町においても受援計画を策定すべきと考える。

また、あわせて災害時に行政業務を継続するための「業務継続計画」との整合性も検証し、災害対策をさらに前進すべきだと考える。

町長

本町では今年度「昭和町業務継続計画」を策定し、災害応急対策業務や通常業務を継続できる体制を整えた。その業務継続の実効性を高めるためには、応援の受け入れは欠かせない。

平成30年度、業務継続計画との整合性を図るとともに、災害時における各課の受援業務や受援体制を明確にした昭和町受援計画を策定し、さらなる防災対策の強化に努めたい。

再質問

本町では災害ボランティアの事前登録制度を取り入れているが、活動内容が一般的と専門的と分かれている。それぞれどのような活動なのか。

また、町外者のボランティアの受け入れはどうなっているのか。

福祉課長

一般的な活動は救援物資の搬送や整理、避難所の運営、炊き出しなど資格がなくてもできることで、専門的活動は医者や看護師、通訳、介護などの資格を持って知識と経験を活かして行うことと定めている。

また、町外者ボランティアの受け入れについては、社協が行うことになるが、ボランティアは基本は自己完結なのでその説明をしながら、被災状況や交通手段などの情報を発信して受け入れる体制をとれるよう訓練している。

Q 若手職員の視察研修とまちづくりアイデア募集の実施を

A 職員の研修について必要に応じて検討していく

河住（かわすみ）　保茂（やすしげ）議員

河住

これからの自治体は自らの創意工夫によって個性豊かなまちづくりを進めなければならないといわれ、10年後には自治体の取り組みいかんで自治体間に相当の格差がでるともいわれている。

個性豊かなまちづくりには、新たな発想が必要だ。まちづくり活性化のため、まず若手職員を民間団体や住民が協力してまちづくりに取り組んでいるところに視察研修に派遣してはどうか。

また、毎年定期的にまちづくりのためのアイデアを募集してはどうか。

町長

行政に携わる職員は積極的に地域活動に参加し、地域から出た課題を地域住民と連携しながら解決に向けて取り組んでいくことが大事であり、職員の資質向上につながると考え、職員には日頃から地域活動への積極的な参加を促している。

若手職員の研修についても政策課題の必要性に応じて今後検討していきたい。

また、まちづくりのアイデア募集については、「新任職員による町長への提言プロジェクトチーム」を編成し、1年をかけて調査、研究している。

平成29年度は2グループが提言を行う予定であり、一定の成果が出ていると考えている。

今後も、研修等を計画的に実施し、職員の自己啓発と改革意識の高揚を図っていきたい。

再質問

平成27、28年に行った山梨県総合県税事務所への職員派遣は、今後もあるのか。行政だけではなく、一般企業への派遣も検討してはどうか。

総務課長

総合県税事務所にも受け入れ人数の制限があるが、今後新たに収納課に配属になる職員の派遣を行っていきたい。また甲府市との人事交流も引き続き行っていきたい。

民間企業との交流は、内容等課題もあるので、慎重に検討していく。

再々質問

若手職員の派遣は政策課題の必要性に応じてということだが、具体的にはどういうことか。

総務課長

政策課題は一例としては子育て支援や人口減少、高齢社会など、これからのまちづくりにおいて考えるべきことで、庁内会議等において課題を整理しながら町村会等の研修に合わせて検討していきたい。

さらなる職員研修の充実を

Q 自殺対策の推進と計画づくりを

A 平成30年度、自殺対策計画を策定し、事業の推進体制を強化する

河田（かわだ） あけみ（あけみ） 議員

河田

日本では毎年2万人以上が自ら命を絶っているという現状が続いている。

国では自殺対策について国を挙げて推進しようと取り組んでおり、山梨県では既に条例が制定されていて、今後は市町村の取り組みが課題だと思われる。

本町でも関連部署が連携して、推進計画に取り組むことが重要と考えるが、町の考えは。

町長

本町では4月からスタートする「第3次昭和町地域福祉計画」において、自殺対策推進の取り組みとして、心の健康づくりに関する情報や知識の普及に努めるとともに、自殺対策計画を策定することを盛り込んでいる。

この3月議会で自殺対策計画策定のための諸経費を当初予算に計上している。

福祉課、いきいき健康課、学校教育課等の課が連携しながら計画を策定し、事業を推進できる体制を強化していく。

Q 学校でがんに関する質の高い授業の実施を

A 外部講師の招へいや取り組み方などを検討し、指導していく

河田

今や国民の2人に1人が※罹患（りかん）するといわれる「がん」について、その予防対策の推進が各都道府県で行われている。

山梨県でもがん対策推進基本法が制定され、がん教育の推進もうたわれ、小中学校では保健の授業でがんを取り上げている。

がん教育は子どもたちが健康の大切さを学ぶとともに、病気の人に対する偏見や差別をなくすための良い機会にもなると考える。

学校現場での質の高い授業を望むが、町の今後の取り組みは。

教育長

本町では小学校高学年、中学三年生に保健体育の時間に「病気の予防」「生活行動がかかわっておこる病気」の中で指導を行ってきたが、がんそのものや、がん患者への理解を深める教育についてはまだ不十分だと感じている。

今後は、コミュニティ・スクールの一環として、医師など外部講師の招へいを積極的に行うとともに、「がん教育」に関する国や県の動向も注視する中で、教育課程上にどのように位置づけていくか検討し、各学校を指導していきたい。

※罹患とは病気にかかること

Q 「都市計画マスタープラン」での土地利用の基本的考え方は

A 市街化調整区域内での住宅等の建築の見直しに重点を置き計画を策定する

田中（たなか） 博愛（ひろよし） 議員

田中

本町の「都市計画マスタープラン」において、土地利用の基本的考え方として市街地住宅系・田園居住系・商業産業系に分けられているようだが、田園居住系において、田園環境と住環境が共生する居住区の形成はどうなるのか。

また、商業産業系において、幹線道路沿いへの地域特例に応じた沿道サービス型の土地利用の誘導はどうなるのか。

さらに市町村が定めることができる条例での面的開発の許可要件は、どのように考えているのか。

町長

現状の制度では市街化調整区域内では住宅等を誰もが建てられるわけではないので、今回全面的に見直す「マスタープラン」においては、そこに重点を置いて計画を策定する。

市街化調整区域内の土地利用は、田園居住系である農地と住環境が共生する「田園居住ゾーン」として位置付け、幹線道路沿いは商業産業系である地域特性に応じた生活利便施設や交流施設が立地する「沿道サービスゾーン」に位置付ける。

なお、マスタープラン策定後に市街化調整区域の開発許可の基準である条例を制定し、住宅や店舗等が本町独自の基準のもと建てられるようにしたいと考えている。

また、地区計画による土地利用の誘導を推進するため、「地区計画ガイドライン」の策定を検討したい。

市街化区域内においても沿道サービス型の土地利用があり、幹線道路沿いを「沿道サービスゾーン」と位置づけ、商業集積生活利便性の高い複合型の沿道サービスゾーンの形成を図りたいと考えている。

面的開発の許可要件については、条例の詳細は現段階では答えられないが、地区計画による面的整備は可能と考えられる。

再質問

市街化調整区域の土地利用についての条例制定について、エリア、ゾーンは具体的にどのように考えているのか。

都市整備課長

市街化調整区域の開発基準等を定める条例については現在検討中であり、エリアについての回答はしばらく待っていただきたい。

よりよい町づくりに向けて

Q 今後の空き家対策は

A 詳しい調査を実施し、危険個所の解消を指導していく

石原（いしはら） 一好（かずよし） 議員

石原（一）

本町は人口も2万人を超え、高速道路のインターチェンジや工業団地、大型ショッピングセンターなどもあり発展してきている。

しかし、実情では空き家もかなりの数があると思われる。屋根から瓦が落下したり、倒壊の恐れのある空き家もあると思われる。

空き家の問題は全国的な社会問題であり、本町でも目に付くようになってきている。今後、慎重に深く考えていくべき問題である。

例えば、隣接地に町の公園等があるような空き家は、町が買い取り、公園を広げるなど、先を見据えた対応も有効な手段だと考える。

町では今後の空き家対策をどう考え、取り組んでいくのか。

町長

本町では平成28年度に空き家対策について、昭和町空家等対策検討委員会を設置し、実態調査を行ったところ、「空家等対策の推進に関する特別措置法」に規定する空き家として61軒を把握し、さらに平成29年度はより正確な情報を管理していくため、各区に協力いただき、空き家や危険な工作物等の調査を実施した。

危険個所等を発見した場合には、建物の所有者に連絡を取り、危険個所の解消等を指導している。

今後の対策としては、空き家の抑制、流通活用、管理不全な空き家の解消、跡地活用等について検討委員会で協議し、「空き家等対策計画」を策定したいと考えている。

再質問

空き家が61軒ということだが、少ないように感じる。空き家の定義を教えてほしい。

また、空き家の周りの草木についても地権者等への注意や指導は具体的にどんなことをしているのか。

都市整備課長

空き家の定義は、空き家等対策の推進に関する特別措置法に建築物とそれに属する工作物で居住、その他の使用がされてないことが常態であるもの、およびその敷地とされている。

町内を移動する際などに気が付いた個所や、町民等からの情報提供などにより把握した時は土地所有者を調べて改善指導するようにしている。

再々質問

空き家の隣接地に町の公園等がある際などは、先行投資的に買い取り、公園を広げるという案についてはどう考えるか。

都市整備課長

財政状況や費用対効果、また、空き家や土地所有者の意向も踏まえる中で検討していきたい。

昭和町内の空き家

Q 甲府開府500年に乗じて義清公のPRを

A 義清神社は文化財、生涯学習の場として活用していく

堀　門太（ほり もんた）議員

堀

甲府市は来年迎える甲府開府500年を機に「歴史物語都市構想」を掲げ、各市町村と連携しながら魅力発信を提唱している。

本町にも武田義清公をお祀りしている神社がある。武田信虎、信玄、勝頼の甲斐武田家の3公のルーツは義清公である。甲斐の国に最初に武田の名を冠したのが義清公であり、甲斐武田家の礎を築いた人である。

今後ますます盛り上がるだろう開府500年祭と、その後に続く信玄誕生500年の節目は、本町にとっても絶好のチャンスである。

この機を活かして一気に武田義清公をPRし、町の観光の柱の一つにしたいと考えるが。

町長

義清神社は源義清の館跡で、義清が晩年を過ごしたと言われ、昭和53年に町指定文化財になっている。

地元の方々からは「義清さん」と親しまれていて、現在は「義清さんを守る会」が発足し、神社の清掃などが行われ、人とのつながりも深められている。

町でも義清の墓といわれている「義清塚」の整備を行い、説明看板や案内看板の整備などを行っている。

甲府開府500年祭はこれまでの甲府を知り、これからの甲府を盛り上げていこうという祭りであり、この祭りに乗じて義清神社を観光の柱にしていくことは、今のところ考えていない。

義清神社は文化財として、また生涯学習の場として活用していきたい。

提案

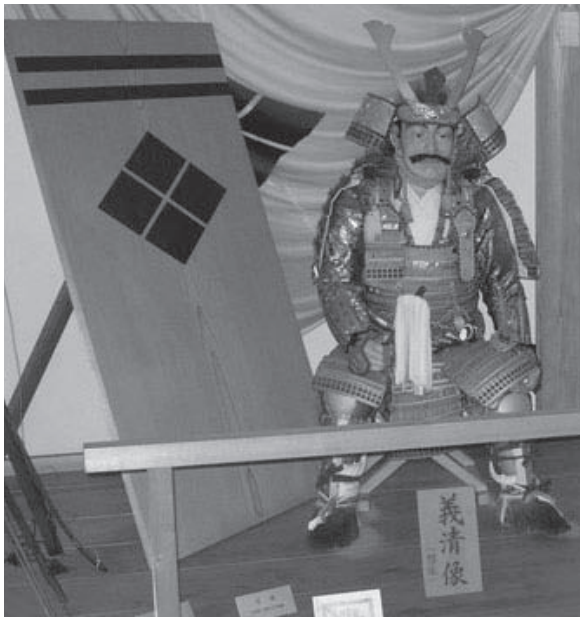
甲府市との具体的な連携が示されていないので昭和町は甲府開府500年祭に参加しないということだが、示されていないからこそ手を挙げるのではないか。

また観光バスが義清神社まで入っていけないというが、バスで乗り付けなくてもいいのではないか。

例えば建設予定の生涯学習館の駐車場にバスをとめ、学習館に義清さんの歴史を学ぶコーナーを作ってもいいのではないか。

今後は義清公を広く発信して、昭和町といえば義清さんといわれるように広めていきたい。

農産物や土産物の開発など、いろんな分野での躍進も期待できる。



義清像と武田菱
（茨城県ひたちなか市教育委員会 提供）

Q 子どもの貧困への対応は

A NPOや民間支援団体等との連携による支援もしていきたい

たかの　かずお
鷹野　一雄 議員

鷹野

子どもの貧困は社会の発展に影響するといわれている。低所得世帯の子どもは教育を受ける機会が少なくなり、進学率が低く、非正規雇用などの増加につながる。

これは税金や社会保険料を納める金額の減少や生活保護などの公的支援の増加を意味する。

山梨県教育委員会が行った子どもの貧困に関する調査の中間報告では、県内の児童、生徒の貧困率は10.6%で、約10人に1人が貧困状態であることがわかった。

この中間報告は各市町村ごとにデータとしてフィードバックされていると聞いているが、本町のデータについてどのように受け止め、どう対応していくのか。

教育長

県が昨年7月に実施した子どもの生活アンケートの中間速報を11月に公表した。その集計結果によると、貧困世帯では「家族構成」の質問で父親がいると答えた世帯が全世帯に比べて低く、「就労状況」でも正社員や正規職員の割合が低かった。

本町のデータを見てもおおむね県と同様の集計結果であり、「支援ニーズ」の項目では子ども食堂や食糧支援、居場所づくりといった項目の回答が多かった。

また、「利用したい公的な支援」の回答では、収入を得るための就労についてもニーズが高く、安定した生活を得るための就労支援が必要であることがわかった。

しかしこれらは本町のみでどうにかできる問題ではなく、社会全体で考えていかなければならない問題が多い。

そのうえで教育委員会としてできることは、長期休暇を利用した学力向上フォローアップ事業の充実や、文化・芸術鑑賞活動や体験学習を継続していくことだと考える。

また、他の関連部署やNPO、民間の支援団体等との連携を行い、今後も必要な支援を提供していく必要があると考える。

再質問

データやアンケート結果は教育委員会以外でも共有しているのか。集計結果から町の実態とニーズを把握し、どのような事業展開をしていくのか。

学校教育課長

集計結果は福祉課と共有しており、結果から学習面での不安と義務教育を終えた後の教育への経済面での不安が大きなウエートを占めていると思われる。

支援については個別具体的な対応が必要と考える。

最近では町内でも子ども食堂を運営する方もいる。居場所づくりや子ども食堂を行う団体に事業の周知などの協力をしていきたいと考えている。

食糧支援については、生活困窮や貧困で相談に来た方には社会福祉協議会を通じてフードバンク山梨につないでいる。今後も継続していきたい。

広域事務組合議会報告

甲府地区広域行政事務組合議会 報告

報告議員：塚原　將司・依田　茂巳
（3市1町で構成）

日　時：平成30年3月29日(木)午後3時～
内　容：・平成29年度甲府地区広域行政事務組合特別会計補正予算《1件》
・平成30年度甲府地区広域行政事務組合一般会計予算《1件》
（昭和町分負担金4,282,000円）
・平成30年度甲府地区広域行政事務組合特別会計予算《4件》
（昭和町分負担金2,260,000円）
・その他、条例関係《3件》
上記議案については可決とした。

中巨摩地区広域事務組合議会 報告

報告議員：遠藤　辰男・金丸　富一
（3市3町で構成）

日　時：平成30年3月29日(木)午前10時～
内　容：・平成29年度中巨摩地区広域事務組合一般会計並びに特別会計補正予算《5件》
・平成30年度中巨摩地区広域事務組合一般会計予算《1件》
（昭和町分負担金　4,896,000円）
・平成30年度中巨摩地区広域事務組合特別会計予算《5件》
（昭和町分負担金　156,744,000円）
・その他条例関係《2件》
上記議案については可決とした。

三郡衛生組合議会 報告

報告議員：石原　高明・石原　一好
（2市3町で構成）

日　時：平成30年3月27日(火)午後2時～
内　容：・平成30年度三郡衛生組合一般会計予算《1件》
（昭和町分負担金　1,470,985円）
・平成30年度三郡衛生組合特別会計予算《2件》
（昭和町分負担金　26,330,358円）
・その他、条例関係《2件》
上記議案については可決とした。

山梨県後期高齢者医療広域連合事務組合議会 報告

報告議員：三井　猛
（27市町村で構成）

日　時：平成30年2月21日(水)午後1時30分～
内　容：・平成29年度山梨県後期高齢者医療広域連合
一般会計並びに特別会計補正予算《2件》
・平成30年度山梨県後期高齢者医療広域連合一般会計予算《1件》
（昭和町分負担金9,609,000円）
・平成30年度山梨県後期高齢者医療広域連合特別会計予算《1件》
・その他、条例関係《3件》
上記議案については可決とした。

井戸端会議

地区住民と議員との対話集会

（紙面の都合上、一部意見要旨のみ掲載）

清水新居区（第9回）

11月29日　区公会堂

●出席者
区民　36名

●参加議員
○教育厚生常任委員会
石原　一好　林　和仁
樋口　敏夫　河住　保茂
中澤　康夫
塚原　將司　議長

○地元議員
堀　門太

運転免許証の返納は

おもな意見・要望と議会の対応

Q 沖田公園前の歩道の樹木が枯れているところもあるので、植え替えをしてもらいたい。

A 当局に伝え、対処する。

A（当局）現状では、8本の木が枯れているので、抜根及び植樹をする。

Q 障がい者になり、福祉タクシーを使わないで、運転免許証（期限切）の返納に行きたいが、良い方法はないか。

A 期限切れの運転免許証であれば、本人が行かなくても、家族であれば警察へ持っていくことができる。

河西区（第10回）

12月15日　区公会堂

●出席者
区民　17名

●参加議員
○産業土木常任委員会
薬袋　義久　依田　茂巳
三井　猛　遠藤　辰男
鷹野　一雄
塚原　將司　議長

交差点に信号機の設置を

おもな意見・要望と議会の対応

Q 常永川の中にヨシなどが密集している状況で、豪雨等の時は河川の水が溢れないか心配、町から強くヨシ等の除去を実施するようお願いして欲しい。

A 現状、危険を及ぼしかねない状況を改善するため、ヨシなどの除去を進めるよう当局から県に要望するよう依頼し確認する。

A（当局）本年10月5日に県の中北建設事務所と現地立会を行いヨシ刈りの要請をして、遅くとも平成30年度の早い時期に草刈を行うとのこと。

Q 萩原石油近くの交差点において、交通事故が非常に多い、この交差点は、児童の通学路なので信号機の設置を早急に実施してもらいたい。

A 危険度が高い状況であるので、町から南甲府警察署へ強く要望している。今年度中は厳しいが、来年度の早い時期に設置する旨の予定を聞いている。

河東中島区（第11回）

1月18日　区公会堂

●出席者
区民　19名

●参加議員
○総務常任委員会
金丸　富一　石原　高明
河田　あけみ　田中　博愛
塚原　將司　堀　門太
○地元議員
遠藤　辰男
鷹野　一雄　中澤　康夫

中小河原築地新居線の進捗は

おもな意見・要望と議会の対応

Q　河東中島区の市街化調整区域の開発は将来的にどうなって行くのか知りたい。

A　市街化調整区域内の建築・開発行為は50戸連たんによるものが基本となる。地区計画といって一定の範囲を指定して、まとめて開発する手法もあるが、具体的には定めていないので県と協議していく。

Q　中小河原築地新居線の進捗状況は。

A　JR身延線を跨線橋で渡る必要があるが、昭和玉穂中央通り線も同様に跨線橋を要するため、新たな跨線橋を両線で共有するなど計画変更する必要はある。

西条新田区（第12回）

1月28日　区公会堂

●出席者
区民　36名

●参加議員
○教育厚生常任委員会
石原　一好　林　和仁
樋口　敏夫　河住　保茂
中澤　康夫
塚原　將司　議長

公会堂と公園を

おもな意見・要望と議会の対応

Q　国保税の滞納の430万円の対応はどうなっているか。

A　滞納整理につきましては、収納課において成果が上がっているが、すべての滞納整理をしている為、順次対応しているので、理解をお願いする。

Q　以前より公会堂公園の一体化を要望しているが。

A　3年前にも出た要望だが、公会堂と合わせての要望であると思う。他の地区からの要望もあるため、順次行っていく予定のようなので、場所・大きさ等を含め、再度要望書の提出を区建設委員会にお願いする。

平成30年度井戸端会議　区担当委員会

総務常任委員会	教育厚生常任委員会	産業土木常任委員会
清水新居区	西条二区	西条一区
西条新田区	築地新居区	河東中島区
押越区	飯喰区	紙漉阿原区
上河東区	河西区	上河東二区

甲府昭和高校との連携事業

昭和町の現状と課題について

日　　時：平成30年2月9日(金) 午後1時20分～

目　　的：甲府昭和高校1年生が思う昭和町の現状と課題について提案を聞き、今後の政策提案の参考や、新たな視点の発見などに繋げる。

概　　要：甲府昭和高校生にとって最も身近な地域である昭和町。生徒たちは、基本となる資料から昭和町の課題を設定し、情報収集の仕方を学ぶ研修を経て、各自必要な情報を収集・分析し、グループでの熟議を重ねてきた。高校1年生の目線から「昭和町の現状と課題」についてまとめた内容を発表し、各組ごとに担当している議会議員から指導助言を行った。

組	テーマ	議会から
1	交通渋滞について 他7テーマ	交通渋滞や、ごみの問題に対し、高校生という立場からの改善策が提案され、違う視点からの提案に刺激を受けた。
2	昭和町のお金の使い道 他6テーマ	観光や治安、経済の面で昭和町が抱える問題と強みを他市町村と比較して明示され、更に良いまちづくりに向け考えていく良いきっかけとなった。
3	紫映祭で特産物を広めよう 他7テーマ	交通について新しい視点からの提案や、学園祭を通じてPR活動を行うなど様々な斬新な意見を聞き、新しい考え方として参考になった。
4	昭和町の経済の課題 他6テーマ	大型商業施設との関わりや、立地を活かした現状の改善策など、工夫を凝らした発表方法で提案され、プレゼン方法から引き込まれ、意見も参考になった。
5	幅広い世代に優しい町づくり 他6テーマ	教育・保育など昭和町が力を入れている分野にあえて焦点を絞り、現状の課題等をうまく結論付けて改善策を提案していて、とても参考になった。
6	ショーワトラフィック 他6テーマ	通学中、部活動中に気づいたことに対して、高校生目線から交通などの課題と改善策を提案していた。ひとつの視点ではなく、すべての視点から改善策を考えなければならないと改めて感じる良い機会となった。

ようこそ昭和町へ・・・

議会視察受入

議会事務局長より昭和町の歩みをパワーポイントで説明し、昭和町のことをより知っていただいた上で、研修を行いました。

1/31 茨城県鉾田市議会

・議会だよりの編集について他

作成時に気をつけている事など、意見交換しました。

2/13 長野県駒ヶ根市議会

・議会広報について・作成の手法

・今後の展開と課題他

これからどのような広報にしていきたいか、意見交換しました。

2/23 長野県御代田町議会

・議会だよりの取組みについて他

広報掲載記事作成の時どのような点を重視しているか意見交換しました。

追跡 あの質問はどうなった？

議員の質問に、当局がその後どのように対応し、どうなっているかを追跡・検証してみました。

追跡 『大規模災害発生時における事業継続計画』について

平成28年9月議会
質問者：依田　茂巳議員
平成30年3月議会
質問者：石原　高明議員

問 災害発生時等には、災害対応の為、自治体の業務量は増大し、一つ一つの行動が遅くなる可能性がある。そこで、初動や応急対応を迅速にする為、業務継続計画を作成しては。

その後 29年度「昭和町業務継続計画」を策定した。30年度には、昭和町受援計画を策定し、発災直後の救出救護活動や救援物資の受入れ、そして災害ボランティアの受入れ体制など、災害時における各課の受援業務や受援体制を明確にした上で、さらなる防災対策の強化に努めていく。

追跡 町営常永団地の連帯保証人について

平成29年12月議会
質問者：河田　あけみ議員

問 入居申込者が減少している理由として考えられる連帯保証人要件を町内在住に限定せず、山梨県内在住者へ範囲を広げては。

その後 入居申込者の減少に連帯保証人要件が町内在住者と限定していることが一因と考えられるため、山梨県内在住者へ範囲を拡大した。

第9回 議員記者が行く

議員記者が行く!のテーマは「町を守る」。町内で活躍する皆様にスポットを当て、活動の姿を追っていきます。今回は昭和町文化協会会長の磯部幸廣さんと文化協会の3つの部の活動を取材しました。

Q 文化協会の各部の活動を教えてください。

A ◎津軽三味線部

津軽三味線部は三本の弦を指ではじいたりして、力強くも繊細な響きを奏でることができる日本の伝統楽器です。迫力のある演奏や息の合った演奏ができた時の喜びはなんともいえません。津軽三味線の魅力を一緒に楽しんでみませんか。

A ◎陶芸部

色・土・形、それぞれにこだわった作品はひとつひとつに思いがあり、皆で作っているときも楽しく感じます。自分で作ったうつわに料理を盛るときのわくわくする気分を味わってみませんか。

A ◎民謡部

民謡部では、山梨県に根付く民謡の知識を深め、歴史を知ると共にその当時を思い起こし、唄うことで楽しみながら民謡を唄い継ぐ活動をしています。民謡の奥深さに触れ、一緒に楽しく活動してみませんか。

会長から町のみなさんへ

文化協会では、昭和町ふれあい祭りと同日に開催しております、昭和町文化祭において、所属する部の皆さんの芸能発表や作品展示を行っています。

現在は、町内小中学校で取り組まれているコミュニティスクール事業にも協力させていただいています。こうした世代を超えた交流の積み重ねを大切にし、昭和町の文化を形成していければと思います。是非文化協会の活動にご注目ください。

議会クイズ

正解者の中から抽選で５名の方に
図書カードをお送りいたします。

空欄に当てはまる言葉を入れてください。

1. 30年3月議会　一般質問者は〇人!
2. 議会〇〇〇〇改正の道のり!
3. ようこそ昭和町へ　視察受け入れ自治体数は〇!

ヒント

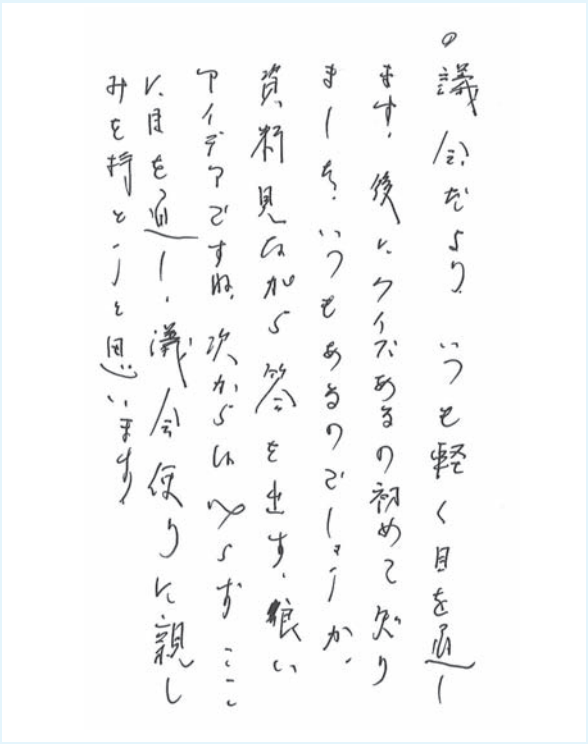
議会だより
177号(この号)を
読んでください

No.176に対する こんなご意見をいただきました!

小学生が議会を傍聴した事は良いと思います。
難しい言葉があったが「異議なし」という言葉はわかったと率直な意見はほほえましいと思いました。
他の小学校なども参加して勉強になればもらいたい。

ほたるんに聞いてみようは解っている様にうまく説明出来ない言葉良く解りました。

(80歳・女性)



(67歳・女性)

いつも拝見しています。
用紙がカラーを前と後ページに使ってるけど、白黒か、中の掲載と一緒でもいいと思う。余計なお世話だけど。でもいつみても、見やすくていいと思います!

メールにて(44歳・男性)

議会だよりによって、議員さんの活動が、よくわかります。これからも、昭和町のために頑張って下さい。

メールにて(52歳・男性)

(仮称)生涯学習館が建設される予定であることが議会便りを読んでわかりました。私がかなりまえから願っていた(投書していた)文化ホールが含まれている可能性があるということ。

私は他の市のホールをお借りして、アマチュアオーケストラを趣味としています。昭和町にもホールができるとなると、音楽に携わっている人たちが集まって、昭和町にもアマオケが出来るかもしれません。そんな日が来ることを願っています。

メールにて(58歳・女性)

【応募方法】

①クイズの答え　②住所　③氏名(ふりがな)
④年齢　⑤議会だよりを読んだ感想
を記入して、はがき・FAXまたはメールにてお送りください。**議会だよりへの要望・意見等**もありましたら、お受けいたします。

【あて先】

●〒409-3880 昭和町押越542-2
昭和町議会事務局「議会クイズ係」宛
●FAX:055-275-0370
●メール:gikai@town.yamanashi-showa.lg.jp

《しめきり》　5月末日消印有効

議会だより
しょうわ
No.177
2018.4.27

■発行人
議長 塚原 将司
■編 集
広報編集特別委員会
印刷 株式会社サンニチ印刷
■発 行
山梨県昭和町議会
〒409-3880
山梨県中巨摩郡昭和町押越542-2
TEL.055-275-8842(直通)
TEL.055-275-2111(代)
FAX.055-275-5250

青空と緑と産業のまち「昭和町」に住む皆様にご意見・ご感想を伺いました。

昭和町に住んでみて Vol.40

「安心・安全な町 昭和町」

飯喰区
今澤（いまざわ） 勇（いさむ） さん

「昭和町に住んでみて」の掲載依頼のお話をいただき、普段意識していなかった昭和町の良さが分かってきました。

山梨県の中心で一番小さな面積である昭和町は昔、農業地帯で、道路も未舗装で狭く、不便な所でしたが、この40年間で大きく様変わりしました。

これまでの農業地帯は区画整理事業によって、素晴らしい市街地が形成され、大型ショッピングセンターの出店により、甲府市中心まで行かなくても生活用品や食料品などが全て揃うようになり、また、娯楽施設も夜遅くまで営業しているので、週末は、好きな映画を見て楽しんでおります。その帰り道はLED街灯に照らされ、明るく、安心して家に帰れます。

私は現在、昭和町の安協に所属し、また、飯喰体協ゴルフ部の部長を務めさせていただいておりますが、自分の出来る範囲で活動を続け、もっと楽しく、そしてより安全で安心な町になってほしいと思います。

昭和町飯喰に生まれ56年が過ぎ、その人生の中、たくさんの方々に支えられ、多くの良き思い出をつくる事が出来たことに対し、感謝に堪えません。これから少しでも恩返しできるよう活動していきたいと思っています。

やさしい昭和町

西条新田区
原（はら） 香織（かおり） さん

結婚を機に昭和町に来て12年になりました。友達も親もいない場所での生活、子育ては不安でしたが、保育園に併設された子育て支援センターを教えていただき、温かい先生や同世代のママ達と知り合うことができ、子ども達の笑顔を見ることで前向きな子育てができるようになり、子育て支援のありがたさを実感しました。

現在3人の子育て中ですが、ママさんバレーに入れていただいたり、前年度は子どもクラブの会長をやらせていただき、行事や地区活動に参加する機会も多くなりました。忙しい毎日でしたが、声をかけてくれたり、助けてくださる方も多く、地域の方の温かさを感じながら、充実した一年を過ごすことができました。

また、体操の講師として小学校の親子レクや児童館、他地区の愛育会におじゃまさせていただいたりと、昭和町の方と触れ合わせていただくことも増えありがたく思います。

昭和町に住んで12年。最初は不安しかなかった生活も、今では人の優しさ、町の優しさを感じながらの生活に変わりました。私もその優しさの一部になれるよう、自分のできることをお手伝いしていければと思います。

新議会事務局長に山本（やまもと） 靖（やすし） 氏

平成30年4月1日付の人事異動により

深川（ふかがわ） 和彦（かずひこ） 氏
議会事務局長 → 収納課長

山本（やまもと） 靖（やすし） 氏
環境経済課 農政振興係長 → 議会事務局長

●広報編集特別委員会

委員長 石原 高明
副委員長 堀 門太
委員 林 和仁
委員 金丸 富一
委員 石原 一好
委員 依田 茂巳

議会を傍聴しませんか

次回定例会は6月6日(水) 開催予定です
議会事務局 ☎275-8842